

鬼に捧げる夜想曲



[鬼に捧げる夜想曲_下载链接1](#)

著者:神津慶次郎

出版者:東京創元社

出版时间:2004年10月

装帧:单行本

isbn:9784488023805

昭和二十一年三月十七日。乙文明は九州大分の沖合に浮かぶ満月島を目指して船中に

あった。鬼角島の異名を持つこの孤島には、戦友神坂将吾がいる。明日は若き網元の当主たる将吾の祝言なのだ。輿入れするのは寺の住職三科光善の養女優子。祝言は午後七時に始まり、午前一時から山頂に建つ寺で浄めの儀式があるという。翌朝早く、神坂家に急を告げる和尚。駆けつけた乙文が境内の祈祷所で見たものは、惨たらしく朱に染まった花嫁花婿の姿であった…。—この事件に挑むのは、大分県警察部の兵堂善次郎警部補、そして名探偵藤枝孝之助。藤枝が指摘する驚愕のからくりとは？ 続発する怪死、更には十九年前の失踪事件をも包含する真相が暴かれるとき、満月島は震撼する。

第十四回鮎川哲也賞受賞作。横溝正史作品のような空気感を持つ本格推理小説。選考会では、著者がまだ十九歳という若さであることが高く評価された。

作者介绍:

神津慶次郎（1984年 - ）

日本の推理作家。大阪市生まれ。2004年、『鬼に捧げる夜想曲』で東京創元社主催の第14回鮎川哲也賞を受賞しデビューした。

目录:

[鬼に捧げる夜想曲 下载链接1](#)

标签

神津庆次郎

日系推理

日本

推理小说

推理

原版

评论

當年這和《密室鎮魂歌》一起拿的獎。要我說就應該得獎作從缺就完了。。。。這書唯一的可取之處就是偽解答還有那麼一點點意思。

偽解答挺有趣，真解答就太橫溝正史。整本書的構思邏輯是照着橫溝正史去的，可是就像評委笠井潔點評一樣，本書缺乏“巧”，干巴巴的復刻了一出橫溝劇，沒有在老樹上開出新花。280多頁有80頁在解明真相，氣氛營造在真相解明去前還非常不错，可是最後80頁雖然說了爆點可是還是讓人感覺又長又水。哦，跟漫威電影一樣，本書最後幾頁有彩蛋，哈哈。。。。

<http://lockedroom.net/blog/?p=1836>
偽解答詭計精彩絕倫，真解答墮入人物關係網和動機挖掘，反倒不那么驚艷。整體作品稍顯套路化，但氣氛一流，人物可憐，宛如橫溝再生，鮎川哲也賞實至名歸。可惜作者一生一發，再無後續。推薦。

全篇描述事件的也就150頁左右，其他150頁就是在反轉再反轉，所以略显啰嗦(特别是偵探跟警部之間疑似騙稿費的腦殘對話)。這本書到處都透露出致敬金田一系列的氛圍，甚至连最后的一个彩蛋都(捂嘴，特别有意思)~凶手的身份不难猜，但动机很雷，非常雷，凶手是岛上的“桃太郎”，我只能这么透了。。。这本书最有趣的地方是：中途换了侦探，简直前所未闻。四星给一生一发的作者，希望你在社畜圈也混的如火如荼。

[鬼に捧げる夜想曲_下载链接1](#)

书评

[鬼に捧げる夜想曲_下载链接1](#)